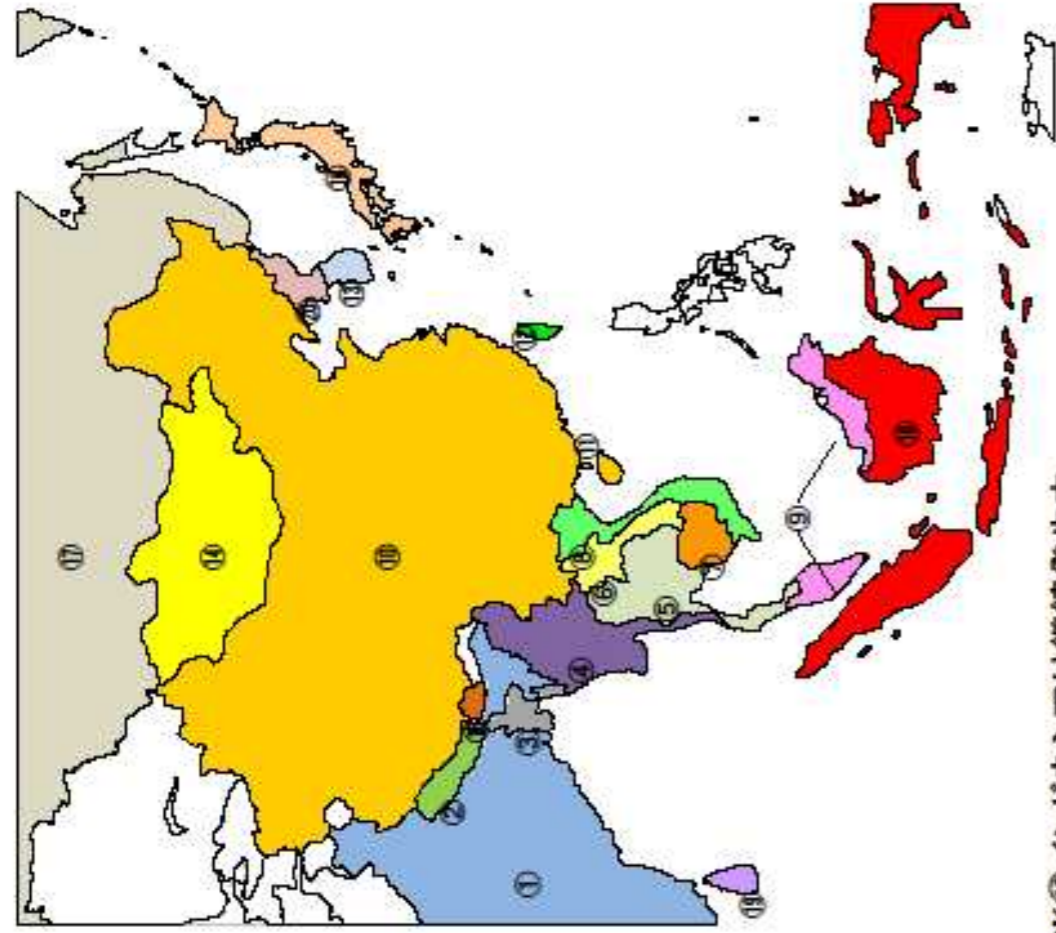




# アジアにおける高病原性及び低病原性鳥インフルエンザの発生状況



※⑩インドネシアは継続発生中

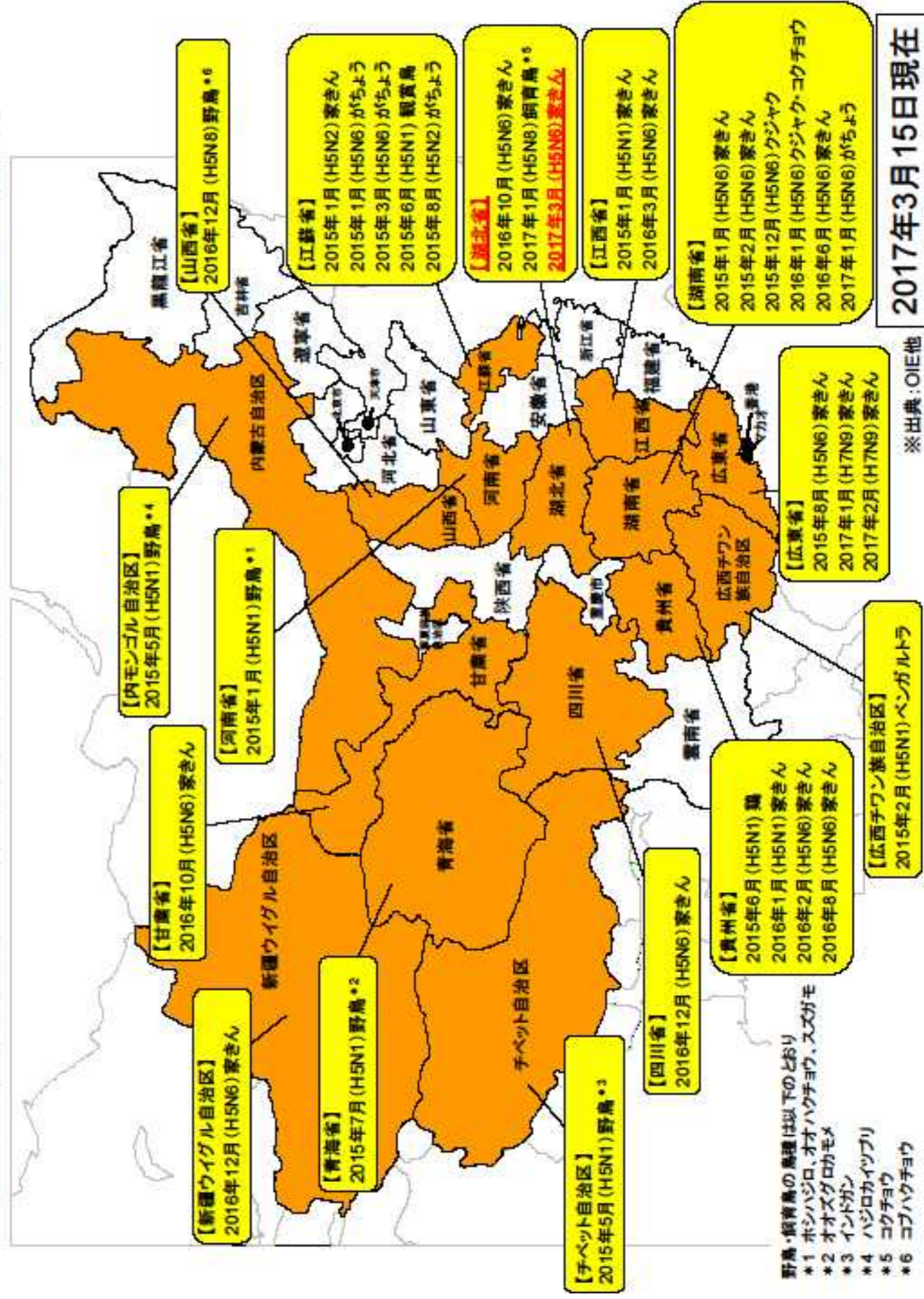
2017年3月15日現在

家さん● 野鳥▲ (発生日、検体回収日に基づく)  
 (赤: 高病原性鳥インフルエンザ、青: 低病原性鳥インフルエンザ)

出典: OIE WAHID 他 ※野鳥の低病原性鳥インフルエンザについては、確認ができた台湾のみ記載

	2015年												2016年												2017年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① インド	●																										
② ネパール			●																								
③ バングラデシュ																											
④ ミャンマー																											
⑤ タイ																											
⑥ ラオス																											
⑦ カンボジア																											
⑧ ベトナム																											
⑨ マレーシア																											
⑩ 中国	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑪ 香港	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑫ 台湾	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑬ 韓国	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑭ モンゴル																											
⑮ 日本	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑯ プータン																											
⑰ ロシア																											
⑱ スリランカ																											
⑳ 北朝鮮																											

# 中国における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2015年1月~)



野鳥・飼育鳥の鳥種は以下のとおり  
 \*1 ホシハジロ、オオハクチョウ、スズガモ  
 \*2 オオズグロカモメ  
 \*3 インドガン  
 \*4 ハジロカイツブリ  
 \*5 コクチョウ  
 \*6 コブハクチョウ

※出典: OIE他

2017年3月15日現在